

大倉大橋PC上部工工事

Construction of OHKURA PC-Bridge

川田建設(株)・東京支店

3. 主要材料

主要材料を表-1に示す。

表-1 主要材料

種 別	規 格	数 量
コンクリート	$\delta_{ck}=400\text{kg}/\text{cm}^2$	2 460m ³
P C 鋼 材	12T12.7	105t
鉄 筋	D13~D22	280t

1. 工事紹介

本橋は、福島県相馬郡飯舘村に位置し、真野川総合開発事業の一環として建設する真野ダムにより水没する村道蛭沢羽白線の羽白橋の付け替え工事によって架設されるもので、左岸県道草野大倉鹿島線と右岸村道上の倉羽白線をダム貯水池中央の狭窄部で横断して結ぶ橋長280mの湖面橋である。全体一般図を図-1に示す。

2. 主要諸元

橋梁形式：PC 3 径間連続箱桁

橋 長：280m

支 間 長：2 @ 79.1m + 120.0m

有効幅員：7.0m

工 期：昭和62年12月～昭和65年3月

発 注 者：福島県真野ダム建設事務所

施 工 者：川田建設(株)・東日本コンクリート(株)

共同企業体

4. たわみ管理

たわみ管理システムは、図-2に示すとおり既設上部工の形状をTVカメラを用いて自動的に計測するシステムで、各施工段階ごとの計画値と比較することにより、施工精度の向上を目指すものである。たわみ管理のための自動管理システムの導入は、従来のレベル測量の煩雑さを解消するだけでなく、測定精度向上にもつながるものである。

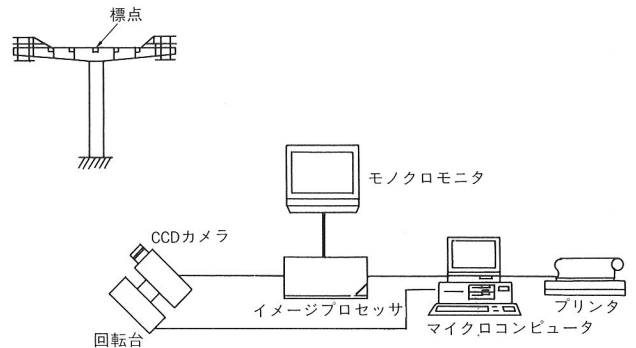


図-2 計測システム構成

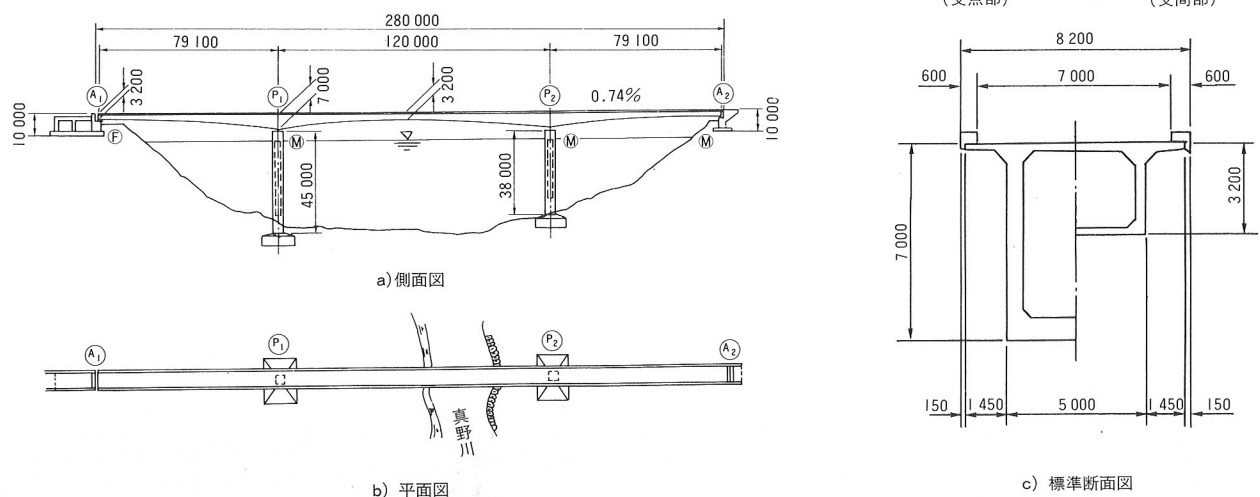


図-1 全体一般図

(文責・高野喜代)